### みえ福祉第三者評価結果

#### ①第三者評価機関名

株式会社三十三総研

#### ②施設•事業所情報

名称:山郷保育園 種別:保育所 代表者氏名:園長 小川 由里 定員(利用人数): 120名 所在地:三重県いなべ市北勢町其原 818 TEL: 0594-72-2624 ホームページ: http://www.inabewel.or.jp/wdp/hoikuen/yamasato/ 【施設・事業所の概要】 開設年月日:平成23年4月1日 経営法人・設置主体(法人名等): 社会福祉法人いなべ市社会福祉協議会 非常勤職員:18名 職員数 | 常勤職員:16名 専門職員 |調理師:5名(うち2名非常勤) 施設・設備 保育室 7 部屋、多目的ホール、調理室、事務室、医務室、相談室 の概要

#### ③理念·基本方針

#### <保育理念>

一人ひとりの子どもを大切にし、豊かな自然の中での遊びや様々な生活体験を通して、 たくましく生き抜く力を育てる

#### く目指す子どもの姿>

- ・基本的生活習慣を身に付け、自分から周りの友だちや自然に働きかけて、深く遊びこ める子ども
- 自分で考えて行動し、最後までやろうとする強い心と身体を持った子ども
- ・様々な遊びや生活体験の中でぶつかり合い、相手の気持ちを尊重して自分たちで問題 解決できる子ども集団

#### く保育目標>

- 一人ひとりの人権を尊重し、丁寧な関わりの中で愛着関係を形成する
- ・健康な身体と豊かな心を育てる
- ・自分で考えたり、工夫したり、友だちと協同しながら主体的に活動できる力を育てる

#### 4施設・事業所の特徴的な取組

- ・自然豊かな環境を活かし、一年を通して田畑、川、森等での遊びを取り入れることで、 生活に必要な経験や体験ができる機会を設けています。
- 地域の老人会や病院、デイサービス等との交流を活発に行っており、地域交流体操等 を通じて交流を図っています。

・地域住民やボランティアの協力を得ながら菜園活動に取り組み、収穫した野菜は給食の食材に使用することで、食育につなげています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

| 評価実施期間        | 令和 3 年 9 月 29 日 (契約日) ~ |
|---------------|-------------------------|
|               | 令和4年3月31日(評価結果確定日)      |
| 受審回数(前回の受審時期) | 1回(2017年3月)             |

#### **⑥総評**

山郷保育園は、いなべ市の東部に位置し、緑が多く自然豊かな環境に立地しています。 平成23年に新築された園舎の内部は木を多くあしらっており、木のぬくもりが伝わる 施設です。また、大きな多目的ホールは季節ごとに様々な行事で活用されているほか、 ガラス張りの調理室は園児の好奇心を刺激するとともに、食育の場ともなっています。 ◇特に評価の高い点

- 過去より地域の老人会や病院、デイサービス等との交流が盛んに行われています。 新型コロナウイルスの流行後は、これまで通りの活動が難しい状況ですが、園児た ちの様子をまとめた「山郷保育園だより」を毎月地域の施設に配布する等、地域と のかかわりを大切にした保育姿勢を感じ取ることができました。
- 子どもたちの誕生日を合同で祝う毎月の「お誕生会」では、誕生月に採れる野菜や果物、花を飾ることで食育につなげています。こうした独自の取組を通じ、地域を愛する心を育んでいます。
- 園長や主任は職員全員の休暇取得状況やシフト状況を把握・管理し、保育士が均等に休憩時間を取得できるよう配慮する等、職場全体で働きやすい職場環境づくりに努めています。

#### ◇改善を求められる点

- 早朝・延長対応の増加等の影響もあり、職員間での連携やコミュニケーションが十分でないと指摘する意見が自己評価や職員アンケートでみられました。今後は、パート職員含め関係者全員が情報を共有できるよう、話し合いの機会を増やすことや連絡方法の見直し等の対策が望まれます。
- 防犯対策については、マニュアルに沿って対策がとられていますが、利用者アンケートでは柵や門の防犯性を不安視する意見がみられました。今後は、防犯への取組を更に強化し、利用者や保護者が安心して登園できる環境作りが求められます。
- 運動会や保育参観が中止となり、保護者と園の関わりや、保護者同士の交流が減少したことを残念に思う意見が利用者アンケートで多数見られました。現在保護者への連絡ツールとして使用されているアプリを活用し、日々の園での様子を発信する等、利用者の満足度を向上させる工夫が期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は、第三者評価の受審において、自己評価の時間を年齢・立場の違う者が集まって持つことができたことで、当園の課題・改善点に気づき、園運営について見直す良いきっかけとなったと同時に、全職員の共通理解や労働環境についての難しさを痛感いたしました。評価結果を真摯に受け止め、課題点を一つ一つクリアしながら、全職員で共通目的意識を持ち、協力体制を築いて、地域の方や保護者の方から信頼される保育園を

# 目指していきたいと思います。

## ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。